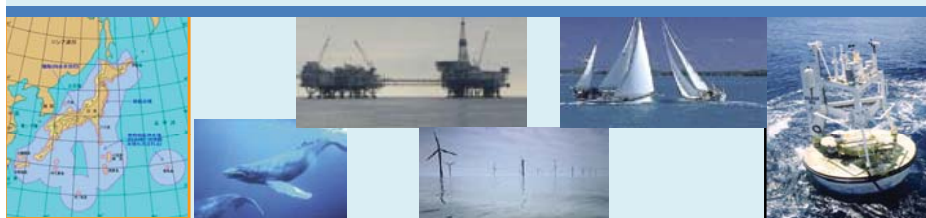


海洋情報の一元化

道田 豊 (東京大学大気海洋研究所)

宇宙海洋連携シンポジウム 2015/3/5 東京大学



【海洋立国のための基盤】

- 海洋調査の充実
日本周辺の海洋観測網の退潮傾向
管轄海域の海洋の状態把握は沿岸国の義務
管轄海域の外側の海洋環境 ↔ 内側の海洋環境
- 海洋情報の整備
海洋基本計画の着実な実施
海洋情報クリアリングハウス, 海洋台帳 の整備, 運用, 充実
- 海洋教育の再構築
海洋利用と海洋環境保全の両側面のバランス
持続可能な開発のための教育(ESD)国際会議(2014年11月, 名古屋)

海洋情報の整備

(1) 既存の海洋情報・海洋データの収集, 管理

海洋情報クリアリングハウス 海洋台帳
海洋空間計画 (Marine Spatial Planning) → 現行基本計画

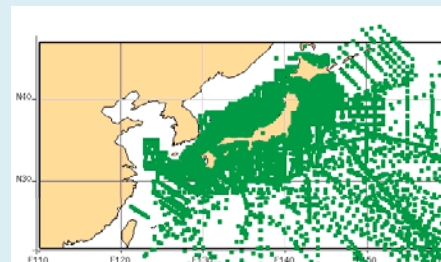
(2) 海洋データ・情報を収集する調査体制の充実

- ・日本近海の海洋観測網は以前より大幅に手薄になった
- ・基本的な観測項目, 仕様を精査して着実に実施する必要あり
- ・管轄海域の海洋の状態を把握しておくことは沿岸国の義務
管轄海域の外側の海洋環境 ↔ 内側の海洋環境

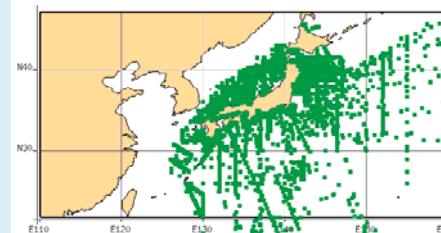
→ 日本近海(管轄海域)における海洋観測戦略を早急に練る必要

【海洋調査】

JODC(日本海洋データセンター)に保管されている
塩分を観測項目に含む観測点(20~50N, 120~160E)



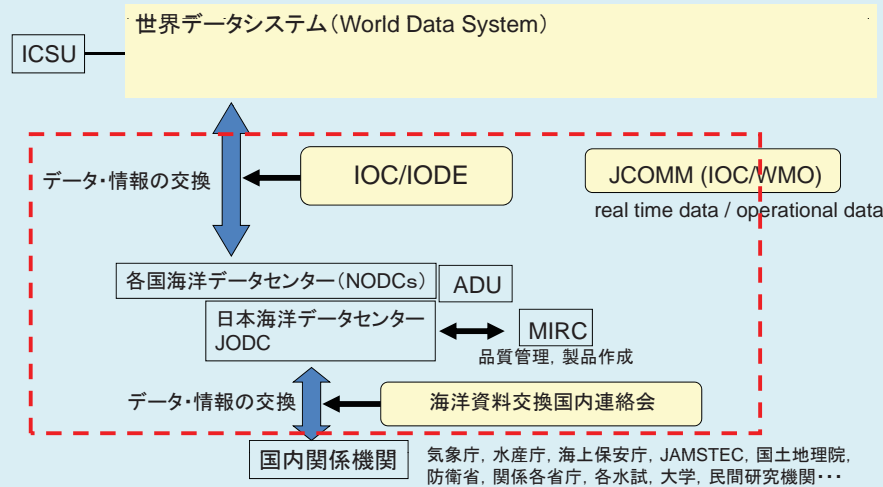
約17700点(1990年)



約11000点(2001年)
+ ARGO 少々

海洋データ(主として非リアルタイムの観測データ)の流れ(ICODE)

ICODE: International Oceanographic Data and Information Exchange



【海洋情報の整備】

(第1期海洋基本計画)

海洋情報の一元化に着手

→ 海洋情報クリアリングハウス運用開始, 海洋台帳整備

(第2期海洋基本計画)

海洋情報一元化の推進, 適切な公開, 利便性の向上

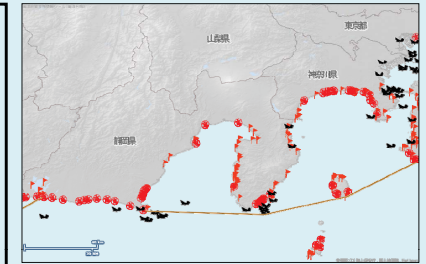
→ 平成25年度「海洋調査・海洋情報の一元化・公開プロジェクトチーム」

→ 政府関連の調査関連情報について共通ルール作り

海洋情報クリアリングハウス・海洋台帳

継続的運用
情報の充実
利便性向上

効果測定(収集した情報の分析)
政策決定への活用(MSP/CMSPなど)



海洋情報の収集・管理・公開の共通ルール策定の課題

(1) 目的・目標

- データ・情報の一元化
- データ・情報の活用

(2) 対象

- 政府など公的機関の業務
- 科学研究
- 民間企業

(3) 性格

- 最低基準⇔努力目標
- 知的財産の位置付け

(4) その他

- 実効性担保

○公的機関による調査データ・情報

- 所在情報
- 滅失防止(Secure archive)
- 品質管理
- 付加価値データセット

○民間機関による調査データ・情報

- 環境アセスメント等データ二次利用の仕組みづくり

- ✓ 国際交換の適否
- ✓ 無償交換 VS 有償提供
- ✓ 海洋空間計画
- ✓ 標準規範 ⇔ 努力目標

【海洋情報管理等に関する道田の解説等】

- 道田豊:海洋環境情報の整備, *環境研究*, **70**, 116-123, 1988.
- 道田豊:海洋気候データワークショップ(OCDW)出席報告, *JODCニュース*, **45**, 2-3, 1992.
- Michida, Y.: Activity of the Japan Oceanographic Data Center, *Umi no Kenkyu sp.*, 17-23, 1997.
- 道田豊:JODCにおける海洋データの取り扱い, *明日の海洋環境を築く(日本海洋学会編)*, 152-172, 1999.
- 道田豊:海洋データ管理をとりまく最近の動き, *月刊海洋*, **33**, 293-298, 2001.
- 道田豊・花輪公雄:CLIVARにおける海洋データとその管理, *月刊海洋*, **33**, 317-322, 2001.
- 佐藤敏・道田豊:IOC海洋データ交換原則政府間作業部会第1回会合報告, *海の研究*, **10**, 585-587, 2001.
- 道田豊:IOCデータポリシー政府間作業部会第2回会合報告, *海の研究*, **11**, 572-575, 2002.
- 道田豊:海を測ることと測ったあとのこと, *海洋開発ニュース*, **30(2)**, 2-3, 2002.
- 道田豊:海洋データ交換ポリシー, *Ship & Ocean Newsletter*, **49**, 2-3, 2003.
- Kohnke, D., M. Costello, J. Crease, J. Folack, R. M. Guingla, and Y. Michida: Review of the International Oceanographic Data and Information Exchange (IODE), *IOC/IODE-XVIII/18*, 50pp., 2004.
- 道田豊:東京大学海洋アライアンスからの海洋技術新展開—第十回 海洋情報—, *海洋水産エンジニアリング*, **82**, 7-11, 2008.
- 道田豊:海洋データ・情報管理をめぐる課題と取組, *月刊海洋*, **号外53**, 17-24, 2010.
- 道田豊:海洋に関する情報の収集・整備・管理・提供, *海洋白書2010*, 71-78, 2010.
- 道田豊:海洋管理の目指すもの～国際的動向をふまえて～, *水路新技術講演集*, **25**, 53-57, 2011.
- 道田豊:海洋情報の整備と管理の意義, *水路新技術講演集*, **26**, 45-50, 2012.
- 道田豊:海洋情報の一元化の取組と民間調査研究機関, シンポジウム「海洋調査研究産業の現在と展望」報告書, 24-30, 2013.